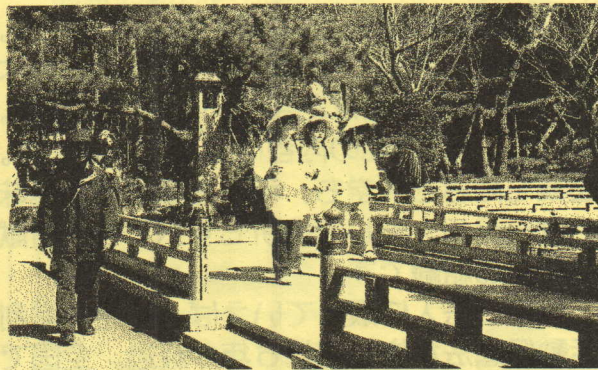


第4号
平成17年3月30日
発行
ボランティア・NPO
情報紙編集委員会

ボランティア・NPO 情報紙なると

連絡先
鳴門市ボランティア
連絡協議会
☎685-7170
鳴門市市民活動推進課
☎684-1189



大麻町にある四国霊場八十八か所一番札所の霊山寺。このあたりに白装束に身を包んだお遍路さんの姿が見え、鈴の音が聞こえ始めると、鳴門路に春が訪れます。

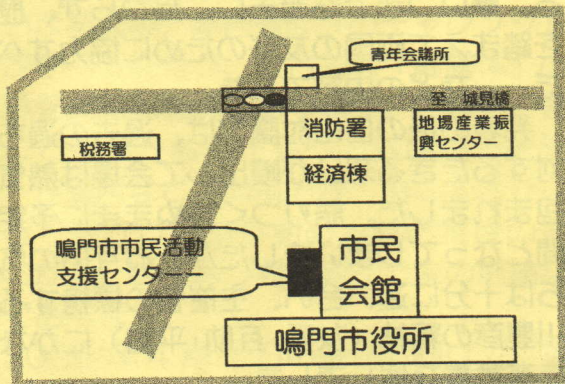
鳴門市市民活動支援センター

4月1日オープン

市では市民の社会貢献活動を促進するための拠点施設として、鳴門市市民活動支援センターを市民会館前の事務室に4月1日オープンします。

センターには、市民活動専任指導員2名を配置し、次の業務を行います。

- ① NPOに関する相談、(NPO法人の設立および運営相談)
- ② 社会貢献活動に関する情報の収集・提供(情報紙の発行、ホームページの更新など)
- ③ 市民活動講座などの市民向け講習会
- ④ 社会貢献活動団体の交流支援



【開館時間】

- 平日：午後3時～午後8時
- 日曜日：午後1時～午後6時
- 休館日：月曜日、土曜日、祝祭日

センター内には活動コーナーを設けて5・6人程度の打ち合わせや簡単な作業ができるスペースを設けております。お気軽にご利用ください。

【問い合わせ】市民活動支援センター

TEL: 684-0655 (4月15日より)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

新法人紹介 「ユイマールとくしま」

平成17年1月、鳴門市内に新しいNPO法人が誕生しました。これで当市のNPO法人は14団体となります。

よろしくお願いいたします。



事務所 鳴門市鳴門町高島字中島 323 番地
TEL: 687-2324

理事長 朝井拓己

分野 保健・医療または福祉の増進を図る活動

- 事業
- ① 訪問介護、家事援助等の在宅福祉サービス事業
 - ② ホームヘルパー等を育成する事業

寄稿

多様化するNPOと社会貢献活動の評価の必要性



徳島市市民活力開発センター
非常勤マネージャー 島 博司

「社会貢献活動」とは、魅力的な言葉です。誰もがその言葉の持つ善意の響きが心地よくて、反対する者はあまりいないでしょう。しかし、その活動の内容は極めて多様です。企業も商店も大学も、市民活動団体や趣味のサークル、そして役所もすべて社会貢献を行える組織です。

NPO法人に限って言えば、特定非営利活動促進法が施行され6年が経過。全国で2万、徳島県内で100を超える団体が生まれました。どの団体が、「何の目的で、社会貢献活動を行い、どんな評価を受けているか」は、あまりよくわかっていません。

「あなたが所属する団体は、地域社会の中でどんな成果をあげているのですか。」と尋ねられて、どれだけの方が正確に答えられるでしょうか。いまNPOの活動は、さまざまな分野で団体数が増加し続けています。社会もNPOにはかなり注目するようになってきました。しかしその中には、活動が低迷するNPOもあれば、委託業務専門のNPOや活動に不安を抱えたNPOもあります。もちろん、社会的に重要で信頼性のあるNPOもあるのです。

多様なNPOが増加しつつある中で、組織の信頼性（内部と外部）や社会的評価をしっかりと見ていることが必要になってきています。

2月末、NPO法人「太陽と緑の会」の作業所が全焼しましたが、この団体の目的や優れた活動もあまり正確に知られていません。全国でも自立する福祉団体として、極めてまれな活動を続けてきた歴史があります。四国内でも最も優れた組織なのです。範とすべきは身近にあるものです。

私は、「とくしまNPO連絡会議事務局」や幾つかのNPOの役員をしていますが、何よりも、よいNPOがもっと育っていく社会環境をつくることに、NPOの関係者はもっと注意力を持って行動すべきだと考えています。

活動報告

日本と中国の若者による 20世紀のアジアの歴史を語る会

NPO法人 賀川豊彦記念・鳴門友愛会

去る2月26日、賀川豊彦記念館において表題のシンポジウムが行われました。会場は、戦争を体験した年配の方々や学校で歴史・社会を教える先生たちで埋められ、ほぼ満席の状態でした。

初めに、徳島大学の石曜名誉教授から日中関係を中心とした「20世紀の東アジア」についての基調講演があり、続いて大連外国語学院の洪曜さんから「20世紀のアジア史をどう学んだか」、徳大大学院留学生の陳師さんから「中国から見た日中戦争」と題する意見発表がありました。

また、実際に中学校で教鞭をとった経験のある鳴門教育大学院生の長江徹子さんから「アジアの近代史を教科書でどう教えているか」についての報告がありました。



パネラーの発表に真剣に聞き入る参加者たち

詳細内容は割愛しますが、中国の若者の論旨をまとめると、●歴史は省略したり歪曲したりせず、真実を正確に伝えるべきである。●日中戦争の責任は一部の帝国主義者にあり、一般の国民に罪はない。大部分の日本国民は中国国民と同じく被害者である。●いつまでも過去にこだわらず、歴史を踏まえて両国の友好のために協力すべきだ……などの内容でした。

発表の後の自由討議では、過去の過ちに対するたぎる想いが噴出して会場は熱気に包まれました。語りつくせぬままに予定時間となってしまいましたが、お互いの気持ちは十分に通い合い、主催者の標榜する賀川豊彦の精神（友愛・互助・平和）にかなった有意義な催しでした。

自立・自律型 NPO 法人をめざして

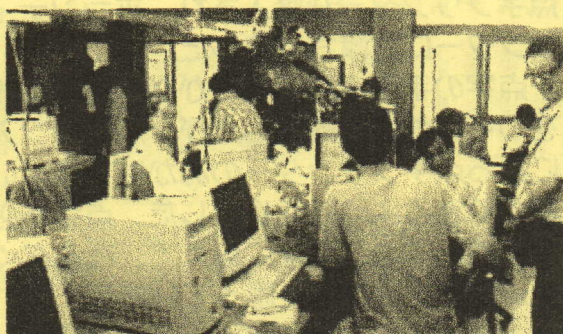
—夢は「創るもの」「育てるもの」「叶えるもの」—

NPO 法人 JCI Teleworkers' Network
理事長 猪子 和幸



本会は、心身の障害、高齢、育児、介護などの理由で、本人の意思とは関わりなく「社会的・職業的」弱者の立場を強いられている人たち（チャレンジド）の社会参加と就労の実現を、ITの利活用などで支援することを目的として平成11年4月に創設し、平成14年1月にNPO法人として認証されました。

以来、ITの指導者養成、講習会・研修会の実施、訪問指導などによる重度移動障害者の在宅学習支援などでチャレンジドのIT利用技術のスキルアップを図り、これらを基盤とした新しい就労形態の創出と就労機会の提供を進めてまいりました。



JCI 鳴門UPセンターで活動する会員

障害者でもできる仕事ではなく、障害者でなければできない仕事、障害者だからこそできる仕事を求めて、それぞれの「得手」を活かした分業・協業でのチームプレイと相互扶助、逆転・反転の発想を合言葉にした仕事ぶりが徐々に認知され、受注する仕事の量・質が増えてきています。

いま私達は、障害者ほかのチャレンジド達がすべてを行う、複合的な「経営体」の創設を真剣に考えております。これは、彼らにとって一般の企業への就職や授産施設・作業所などでの就労が、真に生きがいと誇りをかけて取り組める自己実現の道なのかと、繰り返し問い続けた末の結論なのであります。

2009年4月1日の創立に向けて、経営理念の確立と会員の意識の高揚、「JCI

ブランド」の創出と浸透・定着、自由な発想による斬新なアイデアが提案できる組織内の環境整備など、山積する課題に、一同、胸をワクワクさせながら取り組んでいます。

創設当初から私達の前には、常に高いハードルがありました。しかしハードルは越えるためにあるのです。もしも高すぎて越えられなければ梯子をかければよい。梯子がなければ、自分たちでつくればよい。

手づくり絵本展

「ふくろうの森」会員が“手づくり絵本展”を開きます。子どもや孫の成長の記録を、1冊の絵本にまとめました。手づくりのほのぼのとした絵本展へ、ぜひ一度お立ち寄りください。



なお5月に、「手づくり絵本の製作会」を予定しています。あなたも、子どもさんやお孫さんの成長を絵本にしてみませんか。（要材料費）

【申し込み・問い合わせ】

「ふくろうの森」TEL・FAX: 685-0389

活動報告

長谷寺住職さんによる 講演会

NPO法人 地域交流の会コスモスはうす



2月20日、徳島県仏教会の会長である長谷寺住職の小塩祐光さんをお招きし、「コスモスはうす」で講演会を開催しました。演題は「信仰と生活」です。

住職さんは、一つの宗派にとらわれることなく幅広い立場から、現代の教育のあり

方、子どものしつけ、夫婦愛、そして相手の長所を見ることの大切さなどについて話されました。利用者の方々やスタッフ一同は時間の経つのも忘れて聞き入っていました。具体的な事例を挙げての慈悲あふれるお話の一つ一つにたいへん説得力があり、複雑な社会生活をしている私たちには感銘することが多かったです。

住職さん、有意義なお話をしていただき、本当にありがとうございました。

活動報告

道路の清掃活動

NPO法人 ボランティア鳴門西



ボランティア鳴門西は活動事業の一環として、「徳島県 OUR ロードアドプト事業」および「ボランティア・サポート・プログラム徳島」に参加し、県道黒山中山線の小鳴門大橋から中山までと、国道11号線の木津地区で、道路の清掃活動を実施しています。

平成16年度は、10月、12月、2月の第2日曜日午前8時から10時まで、約15名が参加して紙くず、空き缶、ペットボトルなどを拾い集めました。平成17年度も、鳴門市民のモラル向上により、ごみのポイ捨てが減ることを願いつつ6回実施する予定です。

養成講座 「やるじゃ〜」

NPO法人
mini れすぱいと

3月5日(土)、「mini れすぱいと」と「鳴門市手をつなぐ育成会」の合同主催で、知的障害児(者)支援ボランティア養成講座第1回「やるじゃ〜」を開催しました。参加者は大学生から一般の方まで、ボランティア20名、知的障害児20名、知的障害者

福祉施設関係者、コーディネーターなど総勢60名です。

午前中は鳴門市老人福祉センター3階大会議室で、実際の「mini れすぱいと」

の活動状況をビデオで見ながら知的障害についての講義を行いました。そのあと知的障害児とボランティアさんとの交流をし、午後は鳴門駅から汽車に乗って佐古ダイヤレーンへ。そしてボーリングを楽しむなかで、実際に知的障害のある人達の支援をしてもらいました。

子ども達もボランティアさんも、お互いに肩の力を抜いた楽しく有意義な講座でありました。



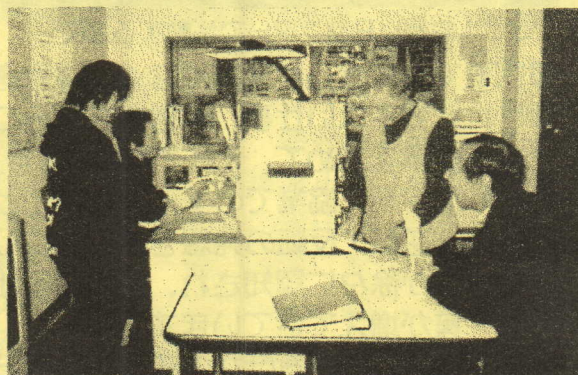
団体情報

点字プリンターの設置

点訳サークル「コスモス」

このたび社会福祉協議会のご協力により点字プリンターが購入され、ボランティアセンターに設置されました。

点字の手書きは時間がかかり多くの枚数をつくるのが困難でしたが、パソコン入力による点字プリンターのおかげで幅広い活動ができるようになりました。点字を必要とする人々のご要望にこたえて、なるべく速く点訳ができたと思っています。



点字プリンターを囲んで打合わせをする会員

いままでに、本、電気製品や携帯電話の説明書、カラオケ歌詞カード、レストランのメニュー、バス時刻表、ゴミ分別表などの点訳活動をしてきましたが、これからは手書きだけでなく、点字プリンターで視覚障害者の生活支援に関わることができればと考えています。どうぞ皆様もご利用ください。